広報
さめがわ
昭和５３年
11月号
No. 299
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町佐藤印刷所



ここにも豊作の秋！　保育所のいも堀り

かわいい保育所の子供さんたちが、明るい秋の陽ざしの下で、いも堀りをして収穫のよろこびを体験しました。

鮫川保育所も渡瀬保育所も、また西山児童館も、熱心な所長さん保母さんたちが、良い子の健やかな成長と、しつけにいろいろと苦心されています。

自然に親しみ、生物を愛護し、作物を育てるたのしみ、とり入れのよろこびを味わうことは、子供たちにとって大変貴重な経験です。今年は高温多照のため村の農作物は大豊作でした。みんなで豊穣の秋を祝いましょう。

- ◉ 1日　交通事故ゼロ、歩行者優先の日
- ◉ 5日　交通事故相談日（県南行政事務所 TEL 白河(2)１５５０）
- ◉ 11月22日～24日　第31回鮫川村文化祭
- ◉ 11月26日～12月２日　秋の全国火災予防運動

今月の人口

（11月１日現在）

人口	5,789	（＋３）
男	2,907	（　０）
女	2,882	（＋３）
世帯	1,172	（　０）

おはなのおみ(43)

農業振興諸制度見直しの時代

村長　石田卯子八

一一月一日には県下農業推進員大会が、棚倉町総合体育館に一五〇〇名からの参加者を集めて、わが郡としては初めての大会として開かれました。

続いて三日には農業振興大会が福島市に開かれ四日は県農業会議の創立二五周年を記念する県下農業委員大会が県文化センターで開かれるなど、このところ農業関係の大会が相次いで開催されました。

これらの大会はひとつにはお祭的な要素もあり、気勢を上げるというねらいもありましょうが、農業者の意志決定や気運の醸成などに意義があるというべきでありましょう。

戦後行われた日本の農政上の諸制度、諸政策は、新憲法の指導理念に基くものではありますが、アメリカの諸制度を多分にとり入れたもので、それが何れも三〇年前後の歳月と経験を経たわけであります。

このへんで見直しの時期にきたものと考え、反省と検討を加えてみることも必要であろうと思います。

農業改良普及制度は、戦前の県郡、市町村の系統農会―農業会、農業技術員制度が廃止されて、農業改良普及所、普及員の制度に変ったものであります。

農業改良推進員はその実践機関として位置づけられております。

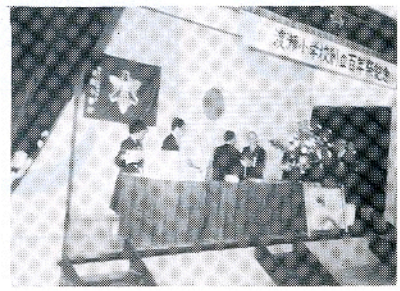
この機構は戦前、戦後それぞれ特色があり、実績も評価すべきものがありますが、戦前の方が農業者に親近感をもたれ、信頼感があったように思われるのはどういうわけか。これは現在の農業改良普及所が県立の機関であり、普及員が県職員であるということに原因がありそうに思えるのであります。

農業の試験研究機関は国、県立としてその機能を充実し、普及機関は市町村がもつという制度の改変も研究されてよいと思います。

農業委員会制度については議論の多いところですが、農業及び農業者の利益代表機関、意志代表機関として機能させるとすれば、委員の公選制を廃止すべきでないことはかねて主張しているところであります。

また農業委員会を単なる農地行政の末端事務処理機関に終始させてはならず、農用地の利用農地集積保有の合理化、効率化更には農業の中核的担い手、後継者の確保育成などを専管する機関として制度及び機構の改善を行うべきであります。

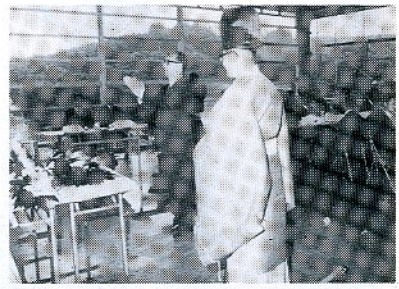
農業協同組合制度も三〇年の歩みを着実に進めてきましたが更に新しい農業状勢に対処してより躍進するための検討が必要と思われます。



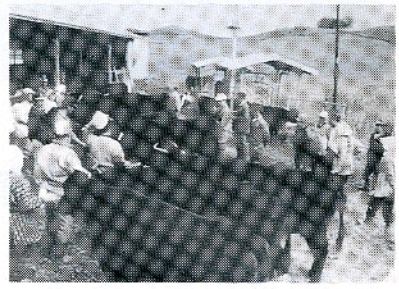
渡瀬小学校が創立100年を迎え、全区をあげての盛大な記念祭典が行われました。

10月29日の祭典当日には元校長先生方もほとんど全員お見えになり、県教育庁学校教育課長塙保貞先生初め旧職員の方々も多数出席され、学区民総出の大祝賀祭典でした。

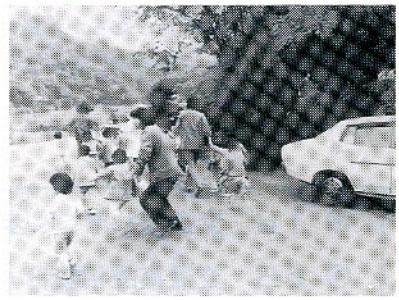
最後に村の無形文化財江竜田獅子舞が披露され、万場の拍手を浴びました。



富田小学校の新築工事が順調に進み、10月6日に上棟式が行われました。



青生野和牛協業組合では和協牧場の施設内で肉用牛の共進会を開きました。夏山冬里の放牧飼育なので健康で足腰の強いのが最大の特長です。



保育所では子供さんの安全には十分心を配っており、時に避難訓練が行われています。

おめでた

九月
官沢　五十嵐和則　父五十嵐一郎

十月
落合　我妻　伸一　父我妻康夫
中山　芳賀喜美江　父芳賀敏彦
越虫　石井　由美　父石井重男
官代　前田　雅美　父前田雅秀
名下　薄葉　秋子　父薄葉正一
名下　須藤　勝広　父須藤　一

おくやみ

十月　年令　世帯主
前田　金沢伊佐男79才金沢利雄
仁田　矢吹　トメ94才矢吹栄治
滝　須藤　ミイ85才須藤菊弥
岫長　北條　正人59才北條　平
戸草　芳賀キミヨ74才芳賀巳子寿

秋の全国火災予防運動

一一月二六日～一二月二日

‼ それぞれの持場で生かせ火の用心 ‼

いよいよ火災シーズンになりました。村民ひとりひとりが火災予防につとめ、火災発生の防止と、人命事故の絶滅をはかりましょう

◎石油ストーブやコンロをこたつの中で使用しないこと。
◎ストーブやコンロは火をつけたまま移動しないこと。
◎給油は火を消してから行うこと。
◎ストーブの上で洗たく物を乾わかさないこと。
◎老人、子供を残して外出しないこと。
◎寝タバコは止めさせること。
◎老人、子供はすぐ逃げれる安全な場所に寝かせること。
◎マッチは子供の手の届かない所におくこと。
◎焚火をする時は消防署に連絡すること。

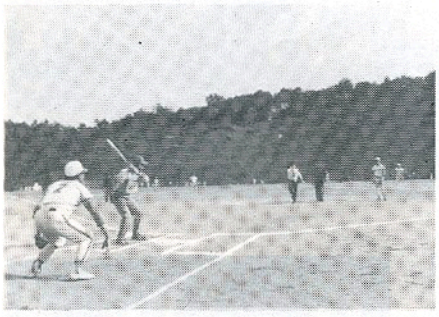
白河消防署鮫川出張所



10月10日体育の日はあいにくの小雨。青年会の駅伝だけが勇ましく行われました。



体力づくり秋季大会の家庭バレーボールは優勝西山Aチーム。準優勝渡瀬Bチーム。



ソフトボールは優勝父ちゃんチーム、準優勝新宿チーム。

休みの日の在宅当番医

(11月12月分)

月日(曜)	当番医院		
	棚倉町	塙町	矢祭町
11月12日(日)	藤田	石川	慈泉堂
19日(日)	勝田	厚生病院	菊池
23日(祝日)	菅原	車田	斉藤
26日(日)	薄葉	根本	木村
12月3日(日)	大木	厚生病院	慈泉堂
10日(日)	菅原	中島	斉藤
17日(日)	棚倉町診療所	石川	菊池
24日(日)	和田	厚生病院	木村
31日(日)	阿部	車田	

成人式参加申込みのご準備を！

※ 村外住民登録者で参加希望の方 ※

第三一回鮫川村成人式は、昭和五四年一月一五日（成人の日）に行います。

今回の成人者は、昭和三三年四月二日から昭和三四年四月一日までに生れた方です。

村外に住民登録されている方でも、特に村主催の成人式に参加を希望される方が、毎年多数ありますので、来春の成人者をお持ちの家庭では、今から本人と連絡をとり、申込みできるよう準備をお願いします。

申込みの詳細については、次号でお知らせします。

なお、村内に住民登録されている方の名簿は次号でお知らせします。

第31回鮫川村文化祭
会場と催し物

◎開発センター
18日　藁谷耕人展
22日　自治体消防30周年記念式典
23日　お母さんお嫁さんに感謝する会
　　青年文化発表会・素人のど自慢大会
24日　農業振興大会・夕べの集い
22～24日
　　村政写真展・老人作品展・秋季さつき展・盆栽展・色紙展・短歌俳句会・青年作品展
　　高校生展・花嫁衣裳展・通信館・映画会
◎村公民館
22～24日
　　農林産物品評会・特産物品評会・生活改善展・農業改良展・商工展・中井恒蜂展
◎文化センター
22～24日
　　幼児作品展・幼小中学校児童生徒作品展
　　考古資料と民俗資料展
◎鮫小屋内運動場
22日　幼小中学校児童生徒学習発表会
◎農業協同組合
22～24日　農協展



公民館いっぱいに飾られた盆栽展。毎年見事な出品が数を増し、観覧者も多くなるばかりです。

駅伝
強いぞ鮫川健児
堂々の三位入賞
惜くも一秒差で優勝を逸す

爽やかな秋晴れの下、第二一回中学校駅伝競走県大会が去る一〇月二〇日に郡山市で開催され、郡大会で九年連続優勝の鮫中チームが郡代表として出場しました。

午前一〇時、郡山市立第四中学校前を出発、一六キロ地点折返しの全コース三二キロを八選手の中継で走破、タイム一時間四八分五一秒で惜しくも三位になりましたが、一位との差が一秒と大接戦が展開されました。

ラストの区間では、県大会初めての上位三チームのデットヒートが展開され、父兄の大応援で鮫中がゴール前三〇〇m地点でトップになったが結局力尽きて優勝を逸しました

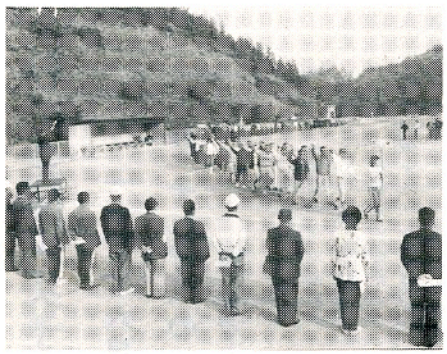
昨年は第五位、今年度は第三位

来年こそは優勝!!とクラブ員一同張切っています。

鮫中は伝統的に駅伝に強いわけですが、これも一朝にして成らず常日頃の選手の猛練習と、担当の先生や父兄の蔭ながらの協力があればこそです。

なかでも監督の柴田先生が休日を返上し日夜駅伝の強化練習に貢献した努力が実り今日の上位入賞となったものと思います。

一区間笹島次雄（二年）　二区星隆（三年）　三区鈴木正幸（二年）四区生田目浩次（三年）　五区関根幸雄（三年）　六区藤田敏男（二年）　七区赤坂浩幸（三年）八区長久保浩寿（二年）（区間新記録）



今年の体力づくり秋季大会は10月15日、盛会に挙行されました。



たくましい後継者たちの行進ぶり。小学校連合運動会の一コマ。



写真
三位入賞のよろこびを胸に来年の優勝を誓い合う「鮫中駅伝チーム」

校章図案募集
富田小学校

富田小学校創立一〇〇周年記念事業の一環として、鮫川村立富田小学校の校章を募集しますので、多数応募して下さい。

一、目　的

平和で豊かな富田の郷に富田小学校の長い歴史と、これからの発展を象徴する校章を制定するため

二、応募要領

㈠　用紙はB5判（一八センチ×二六センチ）程度の白色紙を使用し、裏面に住所、氏名、年齢及び簡単な説明を記入すること。

㈡　作品の提出先　富田小学校内創立一〇〇周年記念事業実行委員会宛

㈢　募集〆切　昭和五三年一一月三〇日

三、応募作品の中から入選一点、佳作二点を選定し、入選及び佳作作品には謝礼を贈ります。

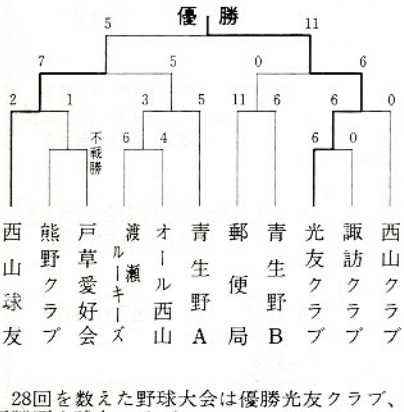
四、その他

㈠　応募作品は返却しません。

㈡　作品の版権は富田小学校に帰属します。

その他不明の点は富田小学校内記念事業実行委員会に問い合せ下さい。（電話〇二四七四九―二一三〇）

富田小学校創立一〇〇周年記念事業実行委員会



28回を数えた野球大会は優勝光友クラブ、準優勝西山球友クラブ。



今年は新らし回れ1周年記念のため青年会に贈られ、第1回青年会振興年会のスポーツ大会優勝旗争奪青年長伝優勝の戸草青年会に授与されました。
青村駅伝は今年は第1回